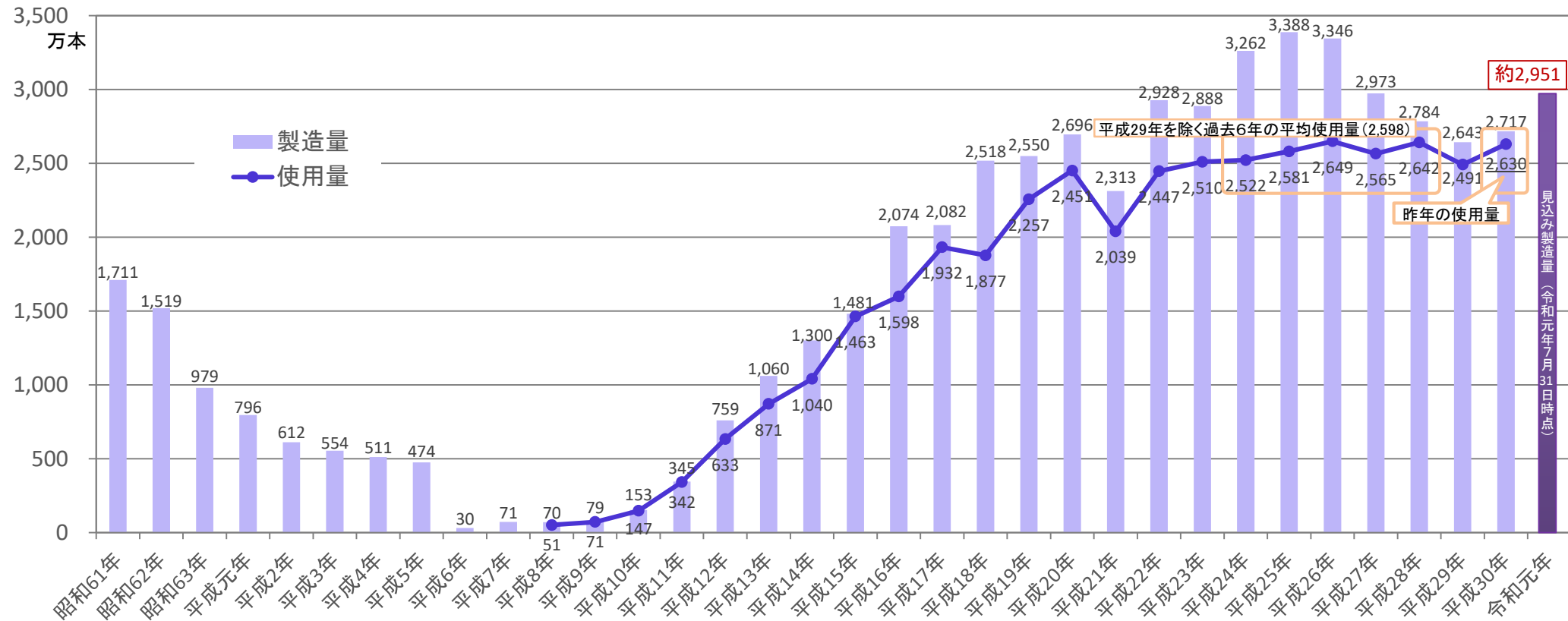


2019/20シーズンのインフルエンザワクチンの供給について (その1)

別添1

○ インフルエンザワクチンの見込み供給量(約2,951万本)は、昨年の使用量(2,630万本)や平成29年を除く過去6年間の平均使用量(2,598万本)を上回っている。

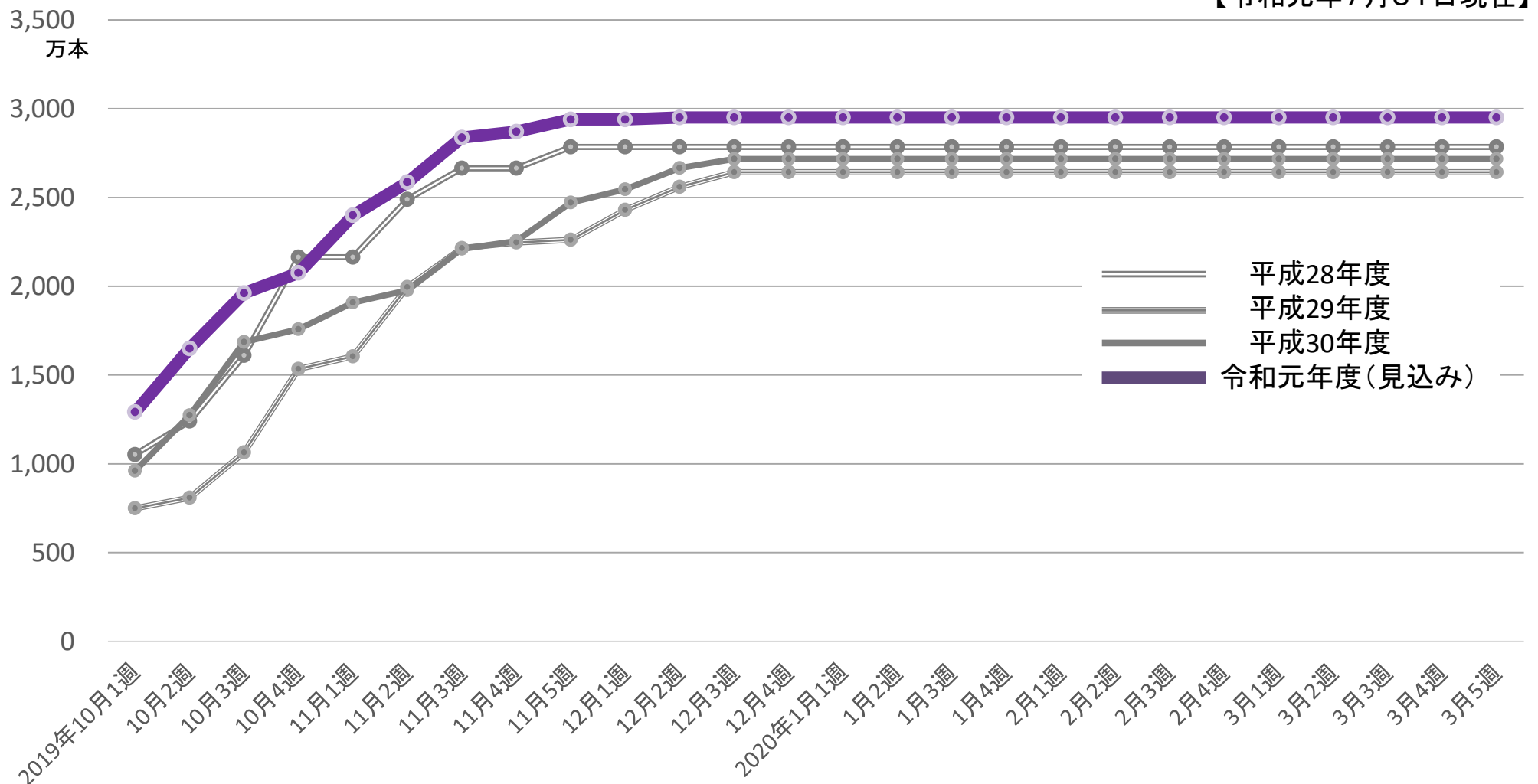
【令和元年7月31日時点】



※1 平成7年以前の使用量は不明 ※2 1ml換算

2019/20シーズンのインフルエンザワクチンの供給について (その2)

【令和元年7月31日現在】



注1) 供給量は、いずれも1mL換算。

注2) 7月31日現在、ワクチン製造は完了していないため、将来の製造効率の変動や国家検定の影響の可能性については、平成30年度の実績と同様と仮定して供給量及び供給時期を算出。